



茂林寺沼南岸用地 利活用事業について

野本 泰生 議員



質問 茂林寺沼南岸用地に全国から誘客できるような施設を整備することですが、これまでの経緯について伺います。

向けて、公募による事業展開を図ることにしました。

質問 事業の進捗状況は。

答弁 今年1月に、地域において住民説明会を開催、2月に事業提案型の公募を受付け、事業者の選定まで行いました。今後は広く意見聴取を行い、事業計画の確定へと進めていきます。

答弁 平成20年4月に用地を取得し、その後様々なプロジェクトによる利活用を検討しましたが、具現化せず、観光地としての発展に

多目的広場には障がいのあるや性別、年代、身体能力に関わらない遊具等を設置したインクルーシブ公園エリアの提案もあります。

質問 公募により1社を選定したが、その方法とは。

答弁 茂林寺沼南岸用地利活用事業者選考委員会を設置、審査と評価により、評価基準を上回った株式会社ニューメタボリズムを優先交渉権者に選定しました。

質問 事業提案の内容はどのようなものですか。

答弁 建築、アート、デザインをコンセプトとして里沼の要素を生かしながら、商業施設や美術館、多目的広場等を設置するものです。

今年4月現在の数や老朽度などの状況を伺います。

答弁 温泉は魅力的なツールと認識していますが、温泉を所有する事業者や南岸利活用の事業者の意向もあるので、動向を注視しています。

きたいと考えています。

質問 南岸施設の建設費用については。

答弁 民間事業者が自ら施設等を建設することになっているので、市においては建設の直接的な費用負担は発生しないと考えています。

質問 館林市の観光における将来展望については。

答弁 官民連携を必須と考え、里沼等「館林にしかない」魅力を発信し、まちの魅力向上を図っていききたいと考えています。



大島地区のスマートインターチェンジと 本市の公衆トイレについて

川村 幸人 議員



質問 群馬県と館林市が連携した大島地区のほ場整備事業と産業団地造成事業と密接に関連するスマートインターの現在の進捗状況について伺います。

質問 大島産業団地造成におけるスマートインターの利便性や付加価値について伺います。

答弁 まず、利便性については、大島産業団地に進出する企業の高速道路へのアクセス性が向上し、物流などの効率化が図れると考えています。また、付加価値

答弁 現在、大島産業団地の南側においてスマートインターの設置について相談を進めているところです。

質問 本市の公衆トイレの

として、1つ目は、防災・減災上の広域避難につながる経路確保、2つ目に、企業誘致におけるセールスポイントとしての優位性を發揮できると考えています。

質問 南面駐車場のトイレやダノン城沼アリーナの駐車場トイレは、本市を代表する利用頻度の高い公衆トイレと言えますが、この2か所のトイレの老朽度などの状況を伺います。

質問 南面駐車場のトイレとダノン城沼アリーナの駐車場トイレが双方とも40年近く経過している状況なので、造り替えは無理でも、せめて屋根や外壁等の塗装工事をし、外見をきれいにしていただき、快適に利用できるように要望します。